

令和8年度 事務事業評価シート（1）
[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	石綿検診事業				事業番号	011-227	
担当部署名	健康福祉局	局	保健所	部	保健医療業務課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.8		
			有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			平成 26 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			—						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	市内在住の石綿ばく露の不安を有する方	対象数	単位
			200	人
7	事業の目的	石綿ばく露の可能性のある方に対し検診を実施することにより、ばく露に係る健康被害への不安を解消し、自身の健康状態の把握と自主的かつ継続的な健康管理を進める。		
8	事業内容	環境省「石綿読影の精度に関する調査」に参加する形で石綿検診を実施。 本市「肺がん検診」の胸部X線画像を読影することにより、石綿関連所見の有無等を把握するもの。 ①市内医療機関（3機関）による一次読影 ②環境省による二次読影 ③結果通知後、上記読影の結果、対象となった方に対する精密検査（胸部CT検査）の案内 ④精密検査の結果通知		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	一次読影を行う市内医療機関（近畿中央呼吸器センター、堺市立総合医療センター、ベルランド総合病院）		
10	公民連携・協働事業	患者団体との連携による検診案内の周知（患者団体による検診チラシの配布）		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	石綿検診申込者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	65	53	56	56
			実績値	49	52		
			達成率	75%	98%		
当該指標を選定した理由		より多くの市民が検診を受診することにより、石綿ばく露に係る不安解消、自主的・継続的な健康管理につながることをため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去2年の実績平均値の10%増を目標値に設定。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	新規申込者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	11	14	14	
			実績値	13	13		
			達成率	118%	93%		
当該指標を選定した理由		アスベスト健康被害が今後も出てくる可能性があることから、アスベストへの関心と新たな健康不安を感じる方の増加傾向を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去2年の実績平均値の10%増を目標値に設定。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	石綿検診事業	事業番号	011-227
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)			
13	財源内訳	項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度	
				決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
	事業費 (a)		554		525		1,658		577		1,548		
	国支出金		554		525		1,658		577		1,548		
	府支出金		0		0		0		0		0		
	市債		0		0		0		0		0		
	その他 ()		0		0		0		0		0		
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0		
一般財源		0		0		0		0		0			
14	人件費 (b)		7,290		7,290		7,560		7,560		7,830		
15	年間経費 (c)=(a)+(b)		7,844		7,815		9,218		8,137		9,378		
事業費の内訳												(単位：千円)	
16	事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目		年度		事業費	うち一般財源
		胸部X線読影及びCT検査委託料		R7	決算	404	0	画像提供手数料		R7	決算	0	0
				R8	予算	1,130	0			R8	予算	120	0
		アスベスト健康手帳等印刷製本費		R7	決算	20	0			R7	決算		
				R8	予算	24	0			R8	予算		
		医療機関宛等X線画像郵送料		R7	決算	103	0			R7	決算		
				R8	予算	198	0			R8	予算		
		環境省検討会等出席旅費		R7	決算	0	0			R7	決算		
				R8	予算	5	0			R8	予算		
		消耗品費		R7	決算	50	0			R7	決算		
				R8	予算	71	0			R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	①	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	石綿検診申込者数	人	49	52
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,815	8,137
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	159,490	156,481
	算出についての説明等		石綿検診事業のうち、石綿検診受診に係る歳出額及び人件費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見		
18	本制度は環境省が実施する「石綿読影の精度に係る調査」に参加する形で実施しており、毎年50人前後の申込者が存在する。 過去の受診者を中心とした案内配布の他、市広報紙・ホームページへの掲載を実施したほか、石綿健康被害に対する情報がメディアでも取り上げられるなど、徐々に世間の関心も高まっており、問合せ件数の増加、新規申込者も一定数あったことが単位当たり経費の減少につながった。	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19	本検診は、石綿ばく露の不安を有する方が自身の健康状態を把握し、自主的かつ継続的に健康管理をすすめる機会を提供するものである。例年、一定数の受診者に対し、特別財源を用いて専門医による読影を実施しており、アスベストの健康被害に係る市民の不安の解消に寄与している。 また、本事業は本市の肺がん検診で撮影した胸部エックス線画像を利用している石綿検診を受診する者が多数を占めている中、令和7年度に本市の肺がん検診の形態が集団検診から個別検診に変わり、従前同様、利用者が新たに費用負担することなく、無料で石綿検診を受診できるよう、医師会及び市内協力のもと実施することができた。	
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）		
20	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	石綿については、現在は使用が禁止されているが、過去に使用された建材等多数のアスベスト製品が生活の周りに存在している。劣化や建替え時など今後も石綿ばく露の危険性が存在し、また、石綿疾患の発症までの潜伏期間が長いことから、過去に石綿を吸い込んだ方が、今後石綿関連疾患を発症する可能性が高く、本検診の有効性、必要性は高い。